

1. 実施概要

目的	公共施設等総合管理計画の推進に向けて、公共施設在り方・再編方針を策定するため、素案を作成するにあたり、関係各課からの意見を聴取することを目的とする。 建築系公共施設所管課が抱える課題を共有し、公共施設マネジメントの観点から解決策を考えるとともに、機能の集約・複合化の考え方、想定される集約・複合化する機能の組合せ案や地域に必要とされる施設・機能について所管課からの意見を伺う。
開催日時	令和7年7月30日（水）14：00～16：30
参加職員	20名

2. 結果概要

ラウンド1：担当者が抱える課題や解決策事例などの共有（主な課題と解決策）

所管課の課題認識

- 学校教育系施設：児童生徒数の増加への対応、利用期間の短いプールの維持管理コストが高い。
- 市民文化系施設：集会施設と公民館の機能の類似。
- 子育て支援系施設：職員や人材確保が課題になっている。児童数増加に伴う学童保育所の不足。
- 保健・福祉施設：子育て支援系施設と同様に、職員や人材確保が課題になっている。
- 特に支援が必要とされる子育て・保健・福祉の分野でニーズの多様化、利用者増に伴い、それに見合ったサービス提供が課題となっている。

解決策案や他事例

- 学校教育系施設の集約・複合化
 - 一貫校の検討や民間施設（プール等）の活用、その他施設との集約・複合化
- 今後の施設の在り方が問われている施設については、用途の転用や集約化
- 子育て支援系施設や保健・福祉施設の複合化・多機能化や施設開放の拡大
 - 施設ではなく、コンテンツの提供による支援の転換
 - 分野的に双方に係る部分も多いため、施設の複合化・多機能化により、職員の融通がきくとともに、現在のニーズにあったサービスの提供が実現できる可能性がひろがる。
 - 学校の活用（学校内の多目的室や体育館の開放）

ラウンド2：まちの特性を活かし、地域コミュニティの拠点として地域の活性化、利便性や市民サービス向上、相乗効果が期待できる施設の集約・複合化の組合せを考えてみよう

【集約・複合化組合せ案】

- 学校教育系施設を中心とした、保育園や学童保育所、集会施設等の複合化による地域コミュニティ拠点の形成
- 学校教育系施設、公民館、図書館の集約による、教育・社会教育・文化拠点の形成
- 図書館、公民館機能に、集会施設の集約による、地域活動拠点の形成
- 保健・福祉系施設の集約による利用者ニーズへの対応
- 等…

【地域に必要とされる施設・機能】

- コミュニティ向け集合機能
- 地域に開かれた施設（目的がなくても使えるインクルーシブな施設）。
- 集約・複合化にあたっては、各団体や利用者の意見をよく踏まえた上で、必要とされる機能を備える必要がある。
- 市有地のみならず、施設の借用など多様な形態での公共サービスの提供の検討。
- 等…

2-1. 班別結果概要

ラウンド1：担当者が抱える課題や解決策事例などの共有(主な課題と解決策)

1班

施設分類	担当施設	課題	解決策や事例
市民文化系施設	集会施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 集会施設と公民館の機能の類似 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校と集会所や公民館の集約・複合化 ● 行政がもたなきやいけない施設のみに集約していく
学校教育系施設	小・中学校	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童生徒増加への対応 ● 現状としては教室を増やすといけない ● 普通教室への転用を行っており、登校訓練の場として使っていた教室なども使えなくなっている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一貫校化の検討 ● 部活動の外部委託
	学校プール	<ul style="list-style-type: none"> ● 夏にしか使わない一方で、施設の維持コストが高く必要性を検討している 	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間プールの活用
子育て支援施設	児童館	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童館においても学童保育所の年齢層の利用もある ● 午前中は乳幼児とその親、午後は子どもの利用による棲み分けがされている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設でなくタブレットでの電子児童館によるコンテンツの提供 ● 学校の多目的室や体育館の開放
	保育園	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後5園から3園へと再編する方針である。 ● 民間の保育園の定員状況にはむらがある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学童保育所と保育園の複合化
	学童保育所	<ul style="list-style-type: none"> ● 学童保育所は不足 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校の多目的室や体育館の開放
行政系施設	文書倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ● 保存文書の保管場所 ● 電子化した時の原本性に対する判断ができていない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間倉庫の活用 ● 電子化、紙資料を減らす ● 文書倉庫+集会所の複合化 ● 伝票の電子化

2班

施設分類	担当施設	課題	解決策や事例
市民文化系施設	市民交流センター（小金井 宮地 楽器ホール）	<ul style="list-style-type: none"> ● 備品の維持費がかかる 	
保健・福祉施設	児童発達支援センター（きらり）	<ul style="list-style-type: none"> ● 通所に係る送迎場所（駐車場等）の不足 ● 法令や制度変更による業務範囲の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ● 遊休地の活用
	障害者センター	<ul style="list-style-type: none"> ● 老朽化、利用者増によるスペース不足 ● 現在のニーズに合ったサービス導入が、現存施設内では実現不可 	<ul style="list-style-type: none"> ● 機能の複合化、多機能化された施設の新設
社会教育系施設	公民館・図書館	<ul style="list-style-type: none"> ● 老朽化が進行している。建替え等が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 機能の複合化、多機能化
	はけの森美術館	<ul style="list-style-type: none"> ● 寄贈を受けた施設の在り方 ● 常時開館（人員を配置する）していない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 用途の転用、他施設への集約化 ● 多機能化
スポーツ・レクリエーション施設	清里山荘	<ul style="list-style-type: none"> ● 在り方が問われている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 用途の転用
	栗山公園・運動施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 修繕費用がかかる ● 単機能で使い勝手が課題 	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用目的の多様化
	総合体育館	<ul style="list-style-type: none"> ● 修繕費用がかかる 	
供給処理施設	メタウォーターサステナブルパーク	<ul style="list-style-type: none"> ● 人員配置 	
	野川クリーンセンター	<ul style="list-style-type: none"> ● 立地上、野川クリーンセンターへの集客が困難 	
その他	武蔵小金井駅南口トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ● 他のトイレと異なり、清掃などの管理を道路管理者が行っており非効率 	<ul style="list-style-type: none"> ● トイレ管理の包括化

ラウンド1：担当者が抱える課題や解決策事例などの共有(主な課題と解決策)

3班

施設分類	担当施設	課題	解決策や事例
保健・福祉施設	児童発達支援センター（きらり）	<ul style="list-style-type: none"> 保育園と併設しているが、相乗効果があまりない 職員が不足している（民間） 	<ul style="list-style-type: none"> 施設が複合化されれば、職員の融通がきく。
	障害者福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 入所施設の建設を求められている 職員が不足している（民間） 	
子育て支援施設	こども家庭センター	<ul style="list-style-type: none"> 市の中心部から遠い、地域の巡回が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 施設が複合化されれば、職員の融通がきく。 新庁舎・（仮称）新福祉会館への移転・移設が予定されており、それにより解決できるものもある。
行政系施設	庁舎	<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎建設予定があり、年縛りがあって補助金申請ができない（申請には今後約10年の使用が条件になる） 設備更新のための補助金がもらえない 設備改修の投資を難しくしている 老朽化 	<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎・（仮称）新福祉会館への移転・移設が予定されており、それにより解決できるものもある。
	区画整理事務所	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化 	<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎・（仮称）新福祉会館への移転・移設が予定されており、それにより解決できるものもある。
	防災倉庫	<ul style="list-style-type: none"> 小規模施設が市内に点在している 災害時の対応が各所になるため、迅速な対応のためには一元化がほしい 災害備蓄品（救助用資機材、物資等）を搬出入しやすいよう、パレットで置きたい 	<ul style="list-style-type: none"> 集約化
	消防団詰所	<ul style="list-style-type: none"> 女性の利用を想定していない 	

4班

施設分類	担当施設	課題	解決策や事例
保健・福祉施設	小金井市保健センター	<ul style="list-style-type: none"> 建物の老朽化 空調の不具合 男子トイレの50%が故障により使用不可（予防修繕ができず、解消には全交換が必要） 未処分の保管物品（期限切れ衛生用品等）の存在（二ーズはあるが室が使えない） 	
産業系施設	東小金井事業創造センター	<ul style="list-style-type: none"> エアコンの不具合 企業の地域定着（市が補助金を出している農工大内のスタートアップがKO-TOに入居するなどの動きはあるが、その後市外へ出て行ってしまう） 	<ul style="list-style-type: none"> 移住支援の拡充
市民文化系施設	市民文化系集会施設	<ul style="list-style-type: none"> 建物の老朽化 利用者（近隣住民）の要望もあり、単純な閉鎖は困難（自宅近くに集会施設がほしいという要望） 	
公営住宅	公営住宅（市営、高齢者住宅）	<ul style="list-style-type: none"> 借上げ高齢者住宅の建物老朽化及び建て替え後の賃上げが未定 市営住宅の老朽化、設備の修繕が高額 修繕が対症療法的なものに留まっている 	
その他	自転車駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> 放置自転車保管所が市有地ではないため、返還時期が未定 放置自転車が多く、駐輪容量の不足 ゲート設備の老朽化（新500円硬貨にも未対応） 	

2-2. 班別結果概要

ラウンド2：まちの特性を活かし、地域コミュニティの拠点として地域の活性化、利便性や市民サービス向上、相乗効果が期待できる施設の集約・複合化の組合せを考えてみよう

集約・複合化組合せ案		考え方
1班	● 環境学習機能は資源物処理施設に移転・集約	➤ 環境学習拠点として複合化。移転後跡地は学童保育所として一時利用。
	● 公民館+児童館+集会施設+図書館（室）	➤ 集約・複合化
	● 学校教育系施設+消防団詰所+防災倉庫+集会施設	➤ 学校教育系施設、集会施設等の集約による地域防災拠点の形成
2班	● 保育園+学校教育施設	➤ 学校教育系施設への集約・複合化
	● 学校教育系施設+運動施設+集会施設+学童保育所	➤ 可能であれば運動施設等とあわせて整備。社会教育等の教育環境の充実
	● 学校教育系施設+児童館+学童保育所+保育園+集会施設	➤ 利用者属性に合わせ、学校教育系施設を中心に複合化
3班	● 学校教育系施設+公民館+図書館+美術館の機能（移転）	➤ 美術館を集約移転化による教育文化の拠点形成
	● 学校教育系施設+集会施設	➤ 住民の動態などから、近隣の施設同士をコンパクトに集約
	● 図書館（室）+集会施設+高齢者福祉施設	
4班	● 防災倉庫の集約	➤ 市内に点在する防災倉庫の大規模化一元管理
	● 図書館+図書館機能の充実が図れる機能	➤ 複合化し図書館の充実を図る
	● 障がい者支援施設の集約化	➤ 市内の老朽化した障がい者支援施設を集約複合化（利用者ニーズに合わせた機能アップ）
4班	● 図書館+公民館+集会施設	➤ 集約・複合化
	● 学校教育系施設+図書館+集会施設	➤ 教育・集会施設の集約化により地域拠点の形成
	● 集会施設+学童保育所等	➤ 複合化とあわせて隣接する公園なども含め、運動できる機能を整備
4班	● 集会施設	➤ 本庁舎跡地に駐車場付き複合施設整備 ➤ 集会施設同士を集約し、跡地を駐輪場として利用

まちの特性を活かし地域コミュニティの活性化を促進するとともに、持続可能な行政運営のために、地域に必要とされる施設・機能とは何か？

1班	● コミュニティ向け集会機能
2班	● “地域に開かれた施設” 目的がなくても使えるインクルーシブな施設
3班	● 5つの区域ごとに図書館、公民館が複合化した拠点を1つずつ設置。 ● 新庁舎・（仮称）新福祉社会館に機能移転後、必要とされるサービスを受けられなくなった方々に対し補完する機能を地域におく（特に福祉分野）。 ● 各団体や利用者の意見をよく踏まえる必要がある。
4班	● 子育て支援系施設、学校教育系施設について、年代構成の変化に合わせた統合や空き教室の活用により、集会施設等の市民文化系施設の更新。跡地は駐輪場等で活用。 ● 市有地のみならず、施設の借用など多様な形態での公共サービスの提供を検討。